

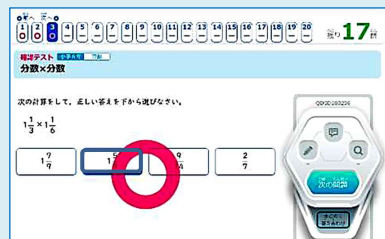


教育委員会より「架け橋」の第7号を発刊いたしました。今号はGIGAスクール構想や新教育委員からご挨拶、出前授業「ようこそ資料館・資料室へ」などを掲載しています。

1人1台端末で実現する鹿屋市の新しい学び～GIGAスクール構想～

鹿屋市の小・中学校では1人1台端末としてiPadを活用しています。

AIドリルを活用して、1人1人の理解度に合った学習をしています。得意分野をさらに伸ばしたり、苦手分野を克服したりすることができます。



授業支援クラウドを活用することで、それぞれの考えがリアルタイムに集約・表示されます。自分の考えと比較したり、周りの考えを参考にしたりして課題解決につなげることで、多様な考え方が組み合わさり、より良い学びを生み出しています。



1人1台端末を使い、体調や心身の状況などを回答することで、児童生徒の心や体調の変化を把握し、不安や悩みの早期発見、早期支援につなげる取組を行っています。

市学校教育課 ☎0994-31-1137

GIGAスクール構想とは

子ども一人一人に個別最適化された創造性を育む教育の実施や、情報通信や技術面を含めたこれから必要とされる学びの環境をICTを活用して整備する文部科学省の取組です。

新教育委員からご挨拶

常に当事者意識を持って

17年前、私は初めてお母さんになりました。生まれたばかりの娘の泣き声がわかる。その不思議な感覚が強く心に残っています。今では高校生から小学生まで4人の母となりました。本当に刺激的で愉快的毎日です。おかげさまで、母だからこそ出逢いと経験をたくさん積み重ねてきました。

この度、ご縁をいただき教育委員をさせていただくことになりました。子どもたちの豊かな育ちのために、たくさんの方が愛情深く携わってくださっていることを実感しています。ありがたい気持ちでいっぱいです。親としての感覚を大切に、「私ならどう感じるか、どうしたいか」という当事者意識を常に持ち、全力を尽くしていきます。



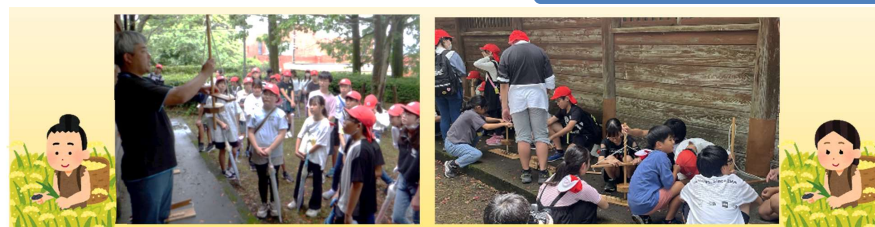
委員
四郎園 佳恵

出前授業「ようこそ資料館・資料室へ」

鹿屋市には、王子遺跡資料館・輝北歴史民俗資料館・串良歴史民俗資料室の3つの施設があります。それぞれの特色ある資料館を出前授業として、文化財センター職員が解説や体験活動のお手伝いを行っています。今回は、令和6年5月24日に王子遺跡資料館（鹿屋市文化会館裏）の様子を紹介します。

寿北小学校6年生が王子遺跡資料館の見学に来てくれました。普段は解説員がいない資料館ですが、出前授業「ようこそ資料館・資料室へ」を活用すると、文化財センター職員による解説を受けることができます。資料館には一度に大人数は入りきらないので、解説待ちの時間を利用して「火おこし」と「本物の土器に触る」体験をしてもらいました。資料館解説の中で、子ども達に「お米を生で食べる？」と質問すると、「食べない！」と元気な答えが返ってきました。日本で弥生時代から米を主食としてきたこと、火を使わないと米を食べられないこと、その火を確保することの難しさなどを、解説や体験を通じて学ぶことができたようでした。

市文化財センター ☎0994-31-1167



第6回 鹿屋市高校生ビブリオバトル大会

ビブリオバトルとは、本の紹介コミュニケーションゲームです。第6回となる大会を開催します！参加費無料、事前申込不要でどなたでも観覧可能です。

あなたの1票でチャンプ本が決まります。高校生の本への熱い思いを聞いてみませんか。

開催日・会場

7月28日（日）13：30～16：00（受付13：00～）リナシティかのや2階（鹿屋市市民交流センター）

ルール

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる
2. 順番に1人5分間で本を紹介する
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う
4. 全ての発表が終了した後、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする



市立図書館 ☎0994-43-9380

お知らせ

県立いろは中学校(夜間中学)入学説明会

いろは中学校の一日の流れや学習内容などについての説明、希望者を対象とした体験授業や入学相談が実施されます。入学希望者やその御家族、周りの方など、どなたでも参加できます。参加費は無料です。

開催日・会場 7月19日（金）東地区学習センター（鹿屋市新川町114番地2）

※説明会に参加を希望する方は、事前申込みをお願いします。

鹿屋市立図書館 ☎0994-43-9380

県立いろは中学校は令和7年4月開陽高校敷地内に開校します。

▼資料はこちら



▼WEB申込はこちら



夜間中学は、「今からでも学びたい」という気持ちにこたえる中学校です。

- ・様々な年齢、異なる国籍や文化の生徒が集い、学んでいます。
- ・生徒は義務教育の機会を十分に得られなかった人々です。
- ・昼間働きながら通学している生徒もいます。

夜間中学は、

- ・週5日間、1日4時間の授業があります。
- ・昼間の中学と同じ教科等が学べます。
- ・教員免許を持つ先生が教えてくれます。
- ・中学校卒業の資格が得られます。
- ・授業料や教科書は無償です。